

3Rのススメ。



大阪関西万博でも難再生古紙のリサイクルに大きな貢献のあったコアレックス信栄株式会社を、3R支援センターの事業を活用し、同志社大学経済学部原田ゼミの学生の皆さんが訪問されました。リサイクル困難な古紙がどのようにリサイクルされているのか、その実態を見学され、最先端の技術に触れる機会となりました。

2026
夏

難再生古紙のリサイクル技術について

令和7年度リサイクル先進事例等視察サポート事業の訪問先企業についてご紹介します。
(コアレックス信栄株式会社)

◆ 事業の概要

3R支援センターでは、資源循環・リサイクル活動を牽引する人材の育成を図るため、府内の大学生・大学院生等を対象に、府外の先進的なリサイクル事例等への視察を支援する事業を実施しています。

今回は、令和8年2月に同志社大学経済学部原田ゼミの皆さんが訪問された、コアレックス信栄株式会社（静岡県富士市）についてご紹介いたします。

◆ 背景

世界的な環境問題となったプラスチック汚染からの脱却のためには、使い捨てプラスチックの削減は急務となっています。たとえば飲食業界では紙容器への転換も進んでいますが、多くの紙容器はプラスチックによる防水加工が施されていることからリサイクルが困難とされ、ほとんどが焼却処理されるなど、抜本的な廃棄物削減にはつながっておらず、リサイクルの高度化は喫緊の課題となっています。こうしたことから、難再生古紙のリサイクルに積極的に取り組むコアレックス信栄株式会社の先進的な取り組みの見学を通じて、サーキュラーエコノミーの実現に欠かせないリサイクル技術の高度化と社会実装を学ぶ機会を持ちました。



◆ コアレックス信栄株式会社について

1961年に静岡県富士宮市にて設立、製紙業界では後発企業であることもあり、難再生古紙のリサイクルに積極的に取り組まれてきました。

今まではリサイクルが困難とされていたアルミ付き紙パックのリサイクルや、大阪・関西万博2025における使用済み紙食器のリサイクルにも積極的に取り組まれています。



◆ コアレックス信栄株式会社工場見学

- ・紙コップやアルミ付き紙パックなどの防水加工紙や感熱紙、カーボン紙、金具付きバインダーなど、従来はリサイクルが困難で禁忌品とされてきた古紙の再資源化のための革新的な技術を実現しているコアレックス信栄（静岡県富士市）の工場見学を行いました。
- ・まず最初に、コアレックス信栄担当者から同社の沿革、古紙リサイクルの仕組みや業務内容の概要、また古紙リサイクルをめぐる現状と課題について丁寧に説明いただきました。



- ・工場見学では、回収された古紙の現物などを見せていただき、難再生古紙とはどのようなものなのか、またどのようにしてリサイクルされるのかを学ぶことができました。
- ・金具などの異物の選別も自動化されており、金具付きバインダーなども問題なくリサイクルできることや、実際にどのような異物が混入しているのかを見せていただきました。
- ・製造工程では、主力商品であるトイレットペーパーがどのようにして消費者が目にする形までなるのかを見学しました。誰もが普段、手にとっているトイレットペーパーですが、その製造工程は想像を大きく超えるもので、古紙リサイクルと製紙の双方について同時に理解を深めることができました。



- ・製紙工程の見学の後は、排水浄化施設も見学しました。富士市は、かつて深刻な公害に悩まされていたこともあって現在では厳しい環境規制が敷かれており、環境保全は最優先課題であることを実感をもって学ぶことができました。
- ・工場全体が大規模災害時の避難施設にもなっていることや行政機関との協定を通じた災害備蓄用のトイレットペーパーの提供、障がい者の就労支援にも積極的に取り組んでいることなど、社会貢献を通じた企業価値の向上についても理解を深めることができました。
- ・質疑応答では、学生からは、「ペーパーレス化が進む中で原料となる古紙原料の確保はどのようにしていくのか」「リサイクルの推進は世界的な課題だが、排出事業者である大手企業とどのようにして対等な関係性を構築しているのか」など活発な質問が出され、その一つ一つに丁寧に回答いただきました。



◆ 今後に向けて

新規参入した事業者が既存の事業者と互角に競争して市場シェアを獲得したり、海外を含む大手事業者とも対等な関係で事業を展開するためには、社会課題を解決できる新技術を積極的に導入することが極めて重要であること、また、障害者施設との連携や大規模災害への対応など社会貢献に積極的に取り組むことが企業価値を高めている事への理解が深まりました。今後、京都府内でもどのような取組の可能性があるので、ゼミにおいて議論を深めていきたいと考えています。

一般社団法人京都府産業廃棄物3R支援センター ニュースレター 「3Rのススメ。」



発行：一般社団法人京都府産業廃棄物3R支援センター
住所：京都市下京区四條通室町東入函谷鉾町78番地
京都経済センター4階 417号室
TEL：075-352-0530 FAX：075-352-0529
E-mail：info@kyoto-3rbiz.org
URL：https://www.kyoto-3rbiz.org

【構成団体】京都商工会議所・京都府中小企業団体中央会・一般社団法人長田野工業センター・公益社団法人京都工業会
公益社団法人京都府産業資源循環協会・特定非営利活動法人KES環境機構・京都府・京都市

